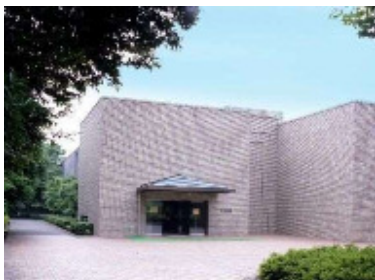


進捗管理・事業評価シート

恒常事業 6		
評価対象年度		令和3・4年度
事業名	博物館運営事業等	
事業概要	<p>①博物館運営事業：博物館及び分館（舞阪郷土資料館、姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館、市民ミュージアム浜北、春野歴史民俗資料館、水窪民俗資料館）の運営及び維持管理、博物館施設の整備</p> <p>②遺跡公園運営事業：蜷塚公園及び伊場遺跡公園の管理、運営、整備、蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクト（重点事業）</p> <p>③博物館展示会開催事業：特別展の開催、テーマ展の開催、巡回展の開催</p> <p>④学習会等開催事業：講座・体験館等の開催、まちかど博物館の開催、学校移動博物館の開催</p> <p>⑤博物館資料調査収集活用事業：資料の購入、調査研究の実施、博物館資料（伊場遺跡群出土品等）の再整理（蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクト（重点事業））、博物館資料の電子データの作成公開</p>	
実施状況		
<p>①博物館運営事業：全館燻蒸（博物館本館R3）空調機器修繕（博物館本館R4）、換気扇修繕（姫街道と銅鐸資料館R4）等</p> <p>②遺跡公園運営事業：蜷塚遺跡の保存活用計画（R3）と整備基本計画（R4）を策定。園路補修（蜷塚）、植栽剪定（伊場）等</p> <p>③博物館展示会開催事業：令和3年度：テーマ展等7件、巡回展18件。令和4年度：特別展1件、テーマ展等7件、巡回展23件。</p> <p>④学習会等開催事業：令和3年度：講座9件、体験等15件、移動博10件。令和4年度：講座14件、体験等11件、移動博9件。</p> <p>⑤博物館資料調査収集活用事業：2か年で44件の資料を寄贈や購入等により受け入れ、台帳デジタル化（舞阪資料館R3）、収蔵資料点検（博物館本館R4～）、市民協働による家康伝承調査事業と報告書刊行（R3・4）伊場遺跡群出土品再整理と図録刊行（R3・4）、銅鐸複製品製作と活用（R4）等</p>		
実施・検討にあたっての課題と対応方針		
<p>①博物館運営事業：老朽化、収蔵スペース不足、UD対応等設備面の課題が多く、速やかにリニューアル事業を進めていく。また、リニューアルまでに必要な修繕等については適宜対応していく。</p> <p>②遺跡公園運営事業：老朽化、UD対応、遺構の保護、展示手法の見直し等課題が多く、速やかに蜷塚遺跡の再整備事業を進めていく。伊場遺跡公園については、当面環境整備を進めていく。</p> <p>③博物館展示会開催事業：常設展示及び企画展示の内容の質的向上や解説の多言語化、分館の展示の更新等が課題であり、企画段階から十分な検討を進めていく。</p> <p>④学習会等開催事業：体験学習、アウトリーチなどの内容の質的向上や、幅広い層への拡充が課題であり、魅力的かつ学習効果の高い魅力的な企画の検討を進めていく。</p> <p>⑤博物館資料調査収集活用事業：資料管理状況の改善が最優先課題であり、収蔵庫内の整理、台帳の見直し、デジタル化を重点的に進めていく。</p>		
計画進捗	進捗評価	今後評価
B 遅れている	A 現状維持	A 事業継続
総合評価		
<p>計画進捗：おおむね計画どおり各事業は進められているが、令和4年度に計画していた博物館リニューアル基本構想策定は、資料紛失事案等により延期している。</p> <p>進捗管理：大幅な計画の見直しが必要で現時点で検討されている事業はないため、現状維持の評価とした。なお、市全体の博物館資料の管理状況の改善（把握と整理、デジタル化）を優先的な課題として取り組んでいく。</p> <p>今後評価：各事業に廃止・統合の予定はないため、事業継続の評価とした。</p>		

状況を示す写真や資料等



博物館外観



常設展示室



特別展示室



蛸塚遺跡写真



伊場遺跡公園写真



令和4年度特別展チラシ



令和4年度テーマ展チラシ



講演会



見学会



移動博物館



出張展示(三ヶ日図書館)



体験学習の開催状況



ボランティアの活動(和綿づくり)



蛸塚公園旧高山家住宅で昔話語り聞かせ



受入(ジェームズ・ペイトン号遭難事件関係資料)



市民協働による家康伝承調査事業

浜松市

重点事業3		
		評価対象年度
事業期間	令和2年度～令和10年度	
事業名	蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクト	
事業概要	①蜷塚遺跡再整備：保存活用計画の策定（R2～R3）、蜷塚遺跡発掘調査（R4）、整備基本計画の策定（R5） ②博物館資料再整理：伊場弥生資料（R3）、円頭大刀（R4）、銅鐸群（R5～R7）、伊場古代資料（R8～R10） ③博物館施設改修等：基本計画（R4）、業者選定（R5）、実施計画（R6）、改修施工（R7） ④博物館管理運営部門の整備改修：リニューアル基本構想の策定（R3～R4）、アドバイザー委託（R5）、計画設計委託、施工等（R6～R7） ⑤伊場遺跡再整備：保存活用計画の策定（R4）、整備基本計画の策定（R5）、実施設計（R6）、整備工事（R7）	
実施状況		
①蜷塚遺跡再整備：保存活用計画（R2～3）、整備基本計画（R4）を策定した。地下の状況を把握するための発掘調査（確認調査）を実施した（R4）。 ②博物館資料再整理：伊場遺跡群出土弥生時代資料の再整理を行い（R2～）、図録を刊行した（R4）。円頭大刀用ケース導入（R3）を実施した。猪久保銅鐸複製品を製作した（R4）。 ③博物館施設改修等：来館者GPS解析調査（R3）を実施した。 ④博物館管理運営部門の整備改修：広聴モニターアンケート調査（R3）、浜松市官民連携地域プラットフォームによる民間事業者との対話（R3）を実施した。 ⑤伊場遺跡再整備：成長した植栽の剪定を実施した（R4）。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針		
①蜷塚遺跡再整備：老朽化が進んでおり、UD対応、遺構の保護、展示手法の見直し等課題が多く、史跡自体の調査研究や啓発事業も市民の関心が低下している。設計を進めて再整備を行う。 ②博物館資料再整理：収蔵資料に重要なものは多いが市民の認知度が高くない。出土品の再整理や調査研究を進めてその成果を活用して資料の価値を多くの人へ周知する。 ③博物館施設改修等：老朽化が進行し、収蔵スペース不足、UD対応等の設備面の課題は多い。改修の検討を行う。 ④博物館管理運営部門の整備改修：資料収蔵、調査研究、展示公開、教育普及の基盤機能に加えて、来館者が学習したり、快適に過ごすための機能がハード・ソフトの両面で不足している。方針をしっかりと決めてリニューアルを進める。 ⑤伊場遺跡再整備：遺跡の重要性を市民に伝えきれていない。普及事業や再整備、指定史跡化の検討などを行う。		
計画進捗	進捗評価	今後評価
B 遅れている	A 現状維持	A 事業継続
総合評価		
計画進捗：蜷塚遺跡再整備事業は予定通り進捗しているが、博物館資料の再整理は伊場遺跡群の弥生時代資料が一段落するのを待って、他の資料を進めていくためやや遅れを生じている。博物館のリニューアルについては、基本構想をR4に策定予定であったが、一年延期している。伊場遺跡の再整備については、蜷塚遺跡再整備を優先させているため再整備は進んでいない。 進捗評価：大幅なスケジュールの見直しが必要な事業はないため、現状維持の評価とした。 今後評価：各事業に廃止や統合の予定はなく、いずれも必要な事業として事業継続の評価とした。		

状況を示す写真や資料等



蜷塚遺跡整備基本計画図(前期整備)



蜷塚遺跡保存活用ワークショップ



蜷塚遺跡確認調査作業



伊場遺跡群弥生時代資料の図録



再整理した伊場遺跡群弥生土器



銅鐸の複製品製作事業



蜷塚遺跡整備完成イメージ(前期整備)